



令和5年度自治会 新役員体制決まる!!



社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者
福祉事業協会
〈発行〉
特別養護老人ホーム
淡路 ふくろうの郷
広報委員会
〒656-0002
洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページリニューアル
のお知らせ
をご覧ください
ますので、よろしくお願
いします。

統一地方選挙不在者投票

昭和22年の新しい憲法施行の翌年成立した優生保護法。優れた人と不良な人をわけ、障害のある人を根絶するため強制的生殖機能を絶つ悪法。被害は5万人近い。提訴者を先頭に被害者と共に歩む淡路の会が結成され入会が呼びかけられている。5月3日は憲法記念日。

4月18日(火)自治会総会・ふくろう大学開講式が開催されました。総会において月ユニットの井上剛文さんが議長に選出され、議事進行を職員と一緒に行いました。昨年・今年度の活動行事・会計報告、役員選挙を行いました。

新しい顔ぶれが役員に加わり、令和5年度淡路ふくろうの郷自治会がスタートします。1年間よろしくお願います。

(生活援助係 山田繁和)

4月5日(水)県議会議員・4月19日(水)には市長・市議会議員の不在者投票を行いました。淡路ふくろうの郷に入居されている方は、地元を離れて数年経っている方は候補者の中から選ぶのに時間を要しますが、一方この政党に投票すると決めている方は即決されるなど様々です。自ら投じた1票の重みを大切に、今後も入居者のみなさまの日常を支援していきたいと思えます。

(総務主任 竹内マリ子)

自治会役員名簿

- 会長：松崎 恵子さん
- 副会長：吉見 輝子さん
- 事務局長：北風 章子さん
- 会計：井上 剛文さん
- 企画担当：高木 妙子さん
- 食事担当：夜久 保子さん
- 生活担当：長田 道子さん
- 花ユニット：藤本 紀代さん
- 木ユニット：武部登喜子さん
- 月ユニット：島原 光子さん
- 川ユニット：大國 孝美さん
- 星ユニット：大北 廣枝さん
- 海ユニット：櫻木 貞信さん
- 監事：山下 輝興さん

こいのぼり

地域交流会の沖田会長、宇城さん、山田さんの3名が3月末にこいのぼりの支柱となる竹を設置してくださいました。天気の良い日は大空を立派なこいのぼりが泳いでいます。

おかげさまで季節の移ろいを感じることができ、入居者・職員と玄関先に出て見上げています。淡路ふくろうの郷が開所してから変わらぬご支援ご協力に感謝申し上げます。(副施設長 加野明宏)



絵本「手をはなしたらあかん」作・山村賢二
平成29年垂水の小学校から平和マップと神戸空襲の話をしてほしいと依頼をきっかけに絵本にして若い世代に戦争の苦しさや平和を守る大切さを伝えたい。

山村氏の承諾を得て聞き取りや神戸ろうあ協会の皆様・手話通訳の協力のおかげで令和5年3月に発行しました。平和教育や人権について考えていただける1冊頒価1,200円です。購入は神戸平和マップを作る会(電話078-891-1301 FAX078-891-1301)

ふくろう物語

小山 照子様

昭和20年4月7日兵庫県

西宮市生まれの78歳です。3人きょうだいの末っ子で14歳、10歳と年の離れた兄が2人いました。

次兄と照子様2人が生まれつき耳が聞こえませんでしたが、

ご本人様からと夫・長女様からお話を伺いました。



▶筆を握り書に向かう照子様

コミュニケーションの壁

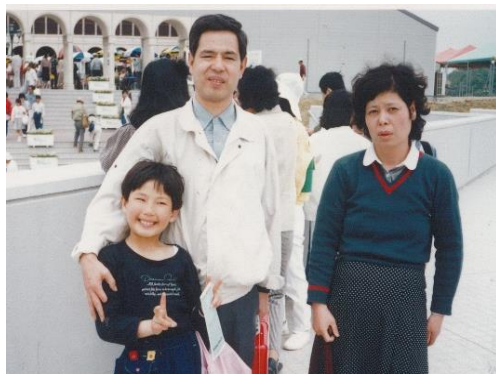
小さい頃は両親が仕事で忙しかったため、照子様のお世話をお手伝いさんに頼んでいました。しかし、お手伝いさんは真面目に仕事をせず、照子様を連れ回して遊んでばかりいたそうです。照子様がご両親に話をするのが難しく、バレないだろうとたかをくくっておられたんだろうと思います。

大阪府立生野ろう学校（現・大阪府立生野聴覚支援学校）に通い卒業後は、豆腐などを作る製造工場に就職しました。

真冬でも冷たい水の中で、たくさんの豆腐を切ったり、油揚げなども作っていたそうです。職場では聞こえる人の輪の中に入れても寂しい思いをされていたそうです。

次兄が仲人

次兄が通っていた手話サークルで、将棋を通して交流



のあった小山成人さんが自宅に遊びにくる間柄で、兄の紹介で結婚しました。その後2人の娘を授かりました。

聞こえない夫婦の子育ては大変でしたが聞こえない子どもたちを一生懸命育てられました。

夫はろうあ協会の役員をしていたので、各地の大会や行事などにも一緒に参加するなど、地元の手話サークルの活動にも積極的に参加され、交流を深められていました。

照子様は県ろうあ者大会

長女様から見る母の姿

などの大きなイベントのみならず、バザー等で販売するために、手作りのカバンや人形を出品するために夜なべをして作っていたそうです。

母は結婚するまで、長兄夫婦の子供の面倒をみていたこともあり、家事全般・特に料理が得意で母の作る料理はどれもおいしかったです。

特に「茶碗蒸し」「かやくごはん」が好きだったので良く作ってくれました。今思うと、「子供の喜ぶ顔を思い浮かべながら、手の込んだ料理をいつも作ってくれて子供たちを大切に思ってくれる自慢の母です」と、教えてくれました。

「今まで苦労が多かったので淡路ふくろうの郷ではのんびりと笑顔で過ごしてほしい」と願われています。

ふくろうの郷での暮らし

照子様はご自宅で生活されていましたが、病气や身体

の機能が低下し、令和4年10月ショートステイ利用を経て11月に長期入居となりました。当初は食事が進まずとても心配しましたが、徐々に回復されました。

照子様はいつも手招きをされ、「手伝って」など単語のやり取りでなかなか深い話ができませんが、毎月ご主人と娘様たちがふくろうの郷に来訪してくださっています。

これまで歩んでこられた照子様の人生を家族様から教えていただく中で、これからのふくろうの郷での暮らしに繋がっていきたいです。

(生活援助係 神代雅司)



▲毎月来訪してくれるご主人・娘様たち

マット作成再開!!

以前に靴下の輪っか編みでマットや座布団を作っていたと聞いていたので、入居者の方の作業に良いと思い、再開することを提案。友人に作り方を教えてもらい、つてもあったので、材料の調達もできました。

コロナ禍のため、見学者等への販売が出来ず、一旦作成を中断していましたが、今年に入り、おのころの家の利用者等からの注文が入り「マットがよく売れている。また作って欲しい。」とお声がかかり、作業することができるようになりました。星海、月川の入居者の方々が中心となり作成に励んでおられます。(健康看護係 野田八重子)



6月 ふくろうの暮らし

- 6/ 6(火) ふくろう大学演劇講座
- 6/ 7(水) 誕生会
- 6/ 8(木) 回想法
- 6/14(水) 手話講座
- 6/17(土) ふくろう大学書道講座
- 6/21(水) ふくろう喫茶
- 6/23(金) ふくろう大学料理講座
- 6/25(日) 初夏まつり



なぜ『人権』を奪われたのか。なぜ『尊厳のある暮らし』を奪われたのか。

～5月3日は憲法記念日 人権について学び合いましょう～

ふくろう学びあい文庫の紹介

『勝楽進・佐代子の人生から学ぶ』
・奪われたものとその回復を助けたもの・



結婚して普通なら、当たり前前に味わえる喜びを絶たれ、子供を持たない辛さ・悔しさを抱え、夫婦で助け合いながら生きてこられた勝楽夫婦の80年余りの人生が冊子になった文庫です。今、全国各地で優生保護法問題が取り上げられています。

目次

- 第一章 「生い立ち」
 - 第二章 「出会い・結婚・断種手術」
 - 第三章 「淡路ふくろうの郷の暮らし」
 - 第四章 「ふるさと訪問」
 - 第五章 「資料・研究ノート・寄稿」
- 文庫⑤ 1000円(税込)

企画・編集・発行/ふくろうまなびあい文庫編集委員会

〒656-0002 兵庫県洲本市中川原町中川原28番地1 特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷 気付
TEL: 0799-25-8550 FAX: 0799-25-8551 ホームページURL: <http://hyoufuku.mai.jp/fukuro/> ※数量が多い場合はご相談ください。

注文書

FAX 0799-25-8551 ふくろうまなびあい文庫編集委員会

お名前		文庫⑤	冊
FAX&TEL		数量	円
住所	〒 —		

※送料は別途必要となります。



令和5年度手話奉仕員養成講座 島内4か所で50人の大盛況

▲南あわじ会場

令和5年度の手話奉仕員養成講座が、洲本・南あわじ(夜・昼)淡路市で開催されました。今年度は4会場で昨年の倍近い50人もの参加です。手話が地域に広がることが期待されます。

**淡路聴覚障害者
センター**
センター便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階



「手話」に関する新しい教材入りました



貸出を行っています。自己啓発の参考にご利用ください

新たに家庭訪問を増やしました

従来、月1回移動相談で各地域を回っていましたが、さらに家庭訪問を増やしました。

4月14日東浦地区を訪問。職員の顔を見て喜んでくださったり、一人暮らしの方の訪問ではちょうど民生委員の方と出会い、地域で見守りしていただいている様子も知情報交換もできました。

久しぶりに施設訪問もできるようになり、入所中のろうの方は「元気」の手話ににっこり。みなさんの暮らしぶりを知ることができる機会となっています。



「聞こえの教室」 「出前講座」のお知らせ

周りに聞こえにくい方、また難聴で意思疎通がとりづらい、年のせいで仕方ないと思われる方も多いかと思います。「聞こえにくさ」は社会で生活する上で様々な困難を伴います。

淡路聴覚障害者センターでは「聞こえにくいことでの困りごとや福祉の制度」などのお話をさせていただきます。

お気軽にお問い合わせください。

3月18日(土)、県の中途失聴難聴者コミュニケーション事業として、「耳のこと、知ってる？」と題して、言語聴覚士の上田月美氏を講師に、また要約筆記あわじの協力も得ながら開催しました。耳が聞こえにくくなり、医者から補聴器装用を進められている方、すでに装用している方、またご家族と一緒になど6名が参加されました。

まず講師より、どういう立場で参加されているのか自己紹介しあったあと、コミュニケーションをとる様々な方法について具体的に説明を受けたり、お互いに筆談や読話などを体験し

「耳のこと、知ってる？」県の中途失聴難聴者コミュニケーション事業



▲コミュニケーションの方法について学ぶ参加者

伝わり方を確認しあいました。伝わりにくい時は、身振りなどを加えると伝わりやすくなります、と講師からの説明を受け、なるほどとうなずいたり、簡単な手話も教えていただきました。これからの生活の対応に生かしていただきたいと思えます。

わくわくフリーマーケットに出店参加して



中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



☎ 656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992



4月9日(日)に洲本市市民広場において、わくわくフリーマーケットが行われました。

利用者様が作ったかぼちゃなどの手作り品、おのころの家にて収穫した玉ねぎ、沢山の焼菓子を利用者様と共に販売しました。時折、冷たい風が吹く中での販売となりましたが、家族連れなど、沢山の客様が来られました。コロナウイルス感染拡大により、長い間様々なイベントが中止になっていましたが、久しぶりに参加・販売することができ、利用者様も頑張っていました。これからイベントの開催が少しずつ緩和されると思います。今後も利用者さんと一緒に参加したいと思えます。

(職業指導員 山田裕美)

香川県観音寺市の マルシェに出店参加

4月29日(土)香川県観音寺市の有明浜ホースパークで開催されたマルシェに出店しました。職員の親族が経営されており紹介いただきました。想像していたより大規模で行列をなしていたのは、有名店のパン屋さんや沖繩そば屋さん、そして今回の大きな目玉となっていた乗馬でした。年齢層は幅広くご家族でお越しのかたが多かったです。



おのころの家にいらしたお客さんへの玉ねぎや焼き菓子を「どれにしよかなあ」とじっくり見て選んでくださっていました。雨が降ったりやんだりの中での開催でしたが、他店の商品陳列の方法や雨天のときの販売についても勉強になりました。

(支援員 興津典子)



新職員の紹介

(介護職員 毛笠彩子)

4月からデイサービス桜ヶ丘に入職しました毛笠彩子と申します。

前職は特別養護老人ホームで4年間勤務していました。常にご利用者の様子や表情をよく見るよう心がけてきました。介護職はとてもしっかり甲斐のある仕事だと感じています。

利用者さんの想いに寄り添えるような介護士として頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願ひします。



4月20日(木)17時30分、ふれあいセンター全職員を対象に「身体拘束・虐待について」をテーマに研修会を実施しました。



令和5年4月1日(土)長田区文化センター別館ピフレにて令和5年度辞令交付式・新入職員研修が行われました。

午前中は辞令交付、一人ひとり自己紹介を行った後、大矢理事長より法人理念「一人ひとりを大切に」ともに生きる」をテーマにお話がありました。そのあと、神戸

令和5年度新入職員研修

〒653-0836
 兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1
 電話 078-798-7940
 FAX 078-798-7941

神戸長田ふくろうの杜

事業所の眞木業務執行理事より「神戸事業所の成り立ち」についてお話がありました。淡路と神戸では設立の経緯に違いはあっても、一人ぼっちのろうあ者をなくして、一人ひとりが大切にされる社会を創るといふ思いが同じです。その思いを大切に働くための心構えを学びました。

午後からは、淡路ふくろうの郷の狭間施設長より「社会福祉とは」対人援助について、橋詰事務長より「就業規則について」、中川原障がい者・高齢者地域ふれあいセンターの濱田業務執行理事より「身体拘束・虐待について」、神戸



新入職員の感想

令和5年4月1日新任職員研修を受け事務職員として働き始めました。「社会福祉とは」の講演では利用者の方々の時代背景を知り、つまずき等を理解することで物事をありのままに捉え、自立したい気持ちに寄り添い支援していくことの大切さを学びました。また、自分ひとりで行動せず、職種に関係なくチームワークの大切さとお互いを理解し尊重する思いやりと笑顔、「ほう・れん・そう」を忘れず等、大切なキーワードも教わりました。沢山の方の思いで実現された「神戸長田ふくろうの杜」で頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。(神戸長田ふくろうの杜 事務 三島陽子)

平野ふくろうの樹竹原管理者より「記録・事故報告について」お話がありました。

法人理念を念頭において、様々な知識や技術を身につけて、一人ひとりを大切にできる支援を考えられる職員集団を作っていけるように努力を続けます。

神戸長田ふくろうの杜職員募集

事業：就労継続支援 B 型事業所・生活介護

資格：サービス管理責任者 1名

※詳細はお気軽にお問い合わせください

(社福) ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

神戸長田ふくろうの杜 担当：眞木

TEL 078-798-7940・Fax 078-798-7941

募集